

研修費（ 濱岡歳生 ）出張報告書

令和 3 年 11 月 19 日

氏 名 濱岡 歳生	研修会等題名 第 25 回 社会保障フォーラム
期 間 令和 3 年 11 月 4 日から 令和 3 年 11 月 5 日まで	研修会等会場 東京都千代田区丸の内 1-1-3 AP 東京丸の内 日本生命丸の内ガーデンタワー 3F

研修会概要・意見書

講義 1

「コロナ・社会保障・地方行政」

樽見 英樹 前厚生労働省事務次官

講義 2

「医療的ケア児支援法の成立と今後の課題」

河村 のり子 厚生労働省 障害保健福祉部障害福祉課

障害児・発達超障害者支援室長

講義 3

「行政のデジタル化と厚生労働行政」

山内 浩一郎 厚生労働大臣官房参事官 情報化担当

研修会概要・意見書

講義 1

コロナ社会保障・地方行政

樽見 英樹 前厚生労働事務次官

9月に新型コロナウイルス感染者数が急速に減少した要因について、感染すると重症化して入院しやすい高齢者へのワクチン接種が進んだこと、マスクをウレタンではなく不織布にするなど、人々に感染予防を徹底するための行動変容が起きたことをあげた。

年末年始には人手が増えるため感染者数が増加する可能性があるとは指摘したうえで、「薬の効果で重症化する患者数を抑え、重症化しても入院できる体制が実現できれば、この病気に対してのこれまでの特別体制の考え方が少し変わっていくのではないかと期待している」と述べた。

講義 2

医療的ケア児支援法の成立と今後の課題

河村 のり子氏 厚生労働省 障害保健福祉部障害福祉課

障害児・発達障害者支援室長 地域生活支援推進室長

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律について、全体像と成立までの経緯を紹介。成立の前提には多くの医療的ケア児の保護者の苦悩や課題があったとした。また、令和3年度障害福祉サービス等報酬改定において、医療的ケア児への支援充実のため、新判定スコアを用いた基本報酬を創設したと説明した。

講義 3

行政のデジタル化と厚生労働行政

山内 孝一郎氏 厚生労働省 大臣官房参事官 情報担当

マイナンバーカードを活用した健康保険証のデジタル化について、「医療機関にとっては資格確認の簡易化、事務負担減となり、患者にとっては転職等に伴う保険証切り替えの負担軽減となる」と述べた。

マイナンバーカードを健康保険証として利用することに伴い、特定検診や薬剤情報を医師等と共有できるようになることで、医療の質の向上に寄与する点を強調した。

また、省内での業務改革の一環で、定型作業の一部自動化である RPA（ロボットによって業務自動化できるシステム）の拡充や地方公共団体との共同ポータルサイトの整備などの取り組みについても紹介した。

山内氏は、「政策形成の中に於いてどのように上手にデータを集めるか、どのように政策に生かすか。政策とデジタルの関わりは非常に重要であり、しっかり取り組みを進めたい」と述べた。

第

25

社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム

最新政策動向をつかむ
セミナー開催のご案内

オンライン中継も実施

引き続き、3密を避けた対応で開催いたします。
「会場で実施されるセミナー」をライブ配信。
自宅や職場などから「オンラインセミナー」をご受講
いただけます。

講演予定講師・テーマ

樽見 英樹氏 厚生労働事務次官
「コロナ・社会保障・地方行政」

河村 のり子氏
厚生労働省 障害保健福祉部障害福祉課
障害児・発達障害者支援室長 地域生活支援推進室長
「医療的ケア児支援法の成立と今後の課題」

山内 孝一郎氏
厚生労働省 大臣官房参事官 情報化担当
「行政のデジタル化と厚生労働行政」

ポストコロナの日本社会と社会保障について、政策担当者や
専門家と一緒に考えてみませんか。皆様のご参加を心よりお待ち
しております。

第24回「地方から考える「社会保障フォーラム」
セミナーの様子

日時 2021年11月5日(金)

参加費 10月26日(火)までに25,000円(消費税込)をお振込みください。

会場 (貸会議室)AP東京丸の内 〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-1-3日本生命丸の内カードセンター3F

会場定員先着

40名

定員になり次第
締切

<主催>

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 兎谷ビル3F 社保研ティラーレ内
TEL 03-3253-0570 / FAX 03-3527-1028

<協力>

(株)社会保険研究所 / 年友企画(株) / (株)社会保険出版社 / (株)フィスマック